

全ての新築建築物に省エネ基準適合を義務化！
2025年に備えてよくわかる省エネ関係図面の書き方
～標準計算「設計図書作成マニュアル」解説～



設計・監理資料集

木造戸建て（標準計算）住宅事例

第1章 設計図書作成マニュアル

住宅：資料ライブラリー - 国土交通省 (mlit.go.jp)



一般社団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター

参考

国立研究開発法人建築研究所（協力：国土交通省国土技術政策総合研究所）

「建築物のエネルギー消費性能に関する技術情報」 <https://www.kenken.go.jp/becc/>



一般財団法人
宮城県建築住宅センター

1. はじめに

2025 年4 月～ 原則全ての新築等に係る建築物について、

建築物エネルギー消費性能基準（省エネ基準）への適合が義務



木造戸建て住宅の設計を行う建築士は、設計図書において、
省エネ基準に係る建材や設備の仕様等を明示することが必要

※記載する設計図書等はいくまで例であり、他の図書に必要事項が明示されている場合は、必ずしも当該図書を要するわけではありません。

2. 記載項目の具体的内容

2.1 基本事項

2.2 外皮

2.2.1 外皮（開口部以外）

2.2.2 外皮（開口部）

2.2.3 外皮（その他）

2.3 暖房設備

2.4 冷房設備

2.5 換気設備

2.6 給湯設備

2.7 照明設備

2.8 太陽光発電設備

2.9 太陽熱利用設備

2.10 コージェネレーション設備

住宅の気密性能評価及び平均日射取得率等（光熱利用・技術情報）計算書
→ 住宅の気密性能評価及び平均日射取得率等（光熱利用・技術情報）計算書

1. 基本事項

項目	内容	単位	備考
建物名称	〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇		
所在地	〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇		
建築年	〇〇		

2. 外皮計算

項目	内容	単位	備考
外皮面積（㎡）	〇〇〇.〇〇	㎡	
外皮断熱性能（W/㎡K）	〇.〇〇	W/㎡K	

3. 内装計算

項目	内容	単位	備考
内装面積（㎡）	〇〇〇.〇〇	㎡	
内装断熱性能（W/㎡K）	〇.〇〇	W/㎡K	

4. 設備計算

項目	内容	単位	備考
暖房設備	〇〇〇.〇〇	W	
冷房設備	〇〇〇.〇〇	W	
換気設備	〇〇〇.〇〇	W	
給湯設備	〇〇〇.〇〇	W	
照明設備	〇〇〇.〇〇	W	
太陽光発電設備	〇〇〇.〇〇	W	
太陽熱利用設備	〇〇〇.〇〇	W	
コージェネレーション設備	〇〇〇.〇〇	W	

5. 評価結果

項目	内容	単位	備考
外皮断熱性能	〇.〇〇	W/㎡K	
内装断熱性能	〇.〇〇	W/㎡K	
暖房設備	〇〇〇.〇〇	W	
冷房設備	〇〇〇.〇〇	W	
換気設備	〇〇〇.〇〇	W	
給湯設備	〇〇〇.〇〇	W	
照明設備	〇〇〇.〇〇	W	
太陽光発電設備	〇〇〇.〇〇	W	
太陽熱利用設備	〇〇〇.〇〇	W	
コージェネレーション設備	〇〇〇.〇〇	W	

外皮計算書

建築物のエネルギー消費性能に関する技術情報

<https://www.kenken.go.jp/becc/>

2.1 基本事項

1) 記載項目

	記載項目	記載する設計図書の例
2.1-1	計算に用いたプログラムの種類	出力シート等
2.1-2	建て方（一戸建ての住宅、共同住宅等の別）	平面図
2.1-3	居室構成（主たる居室とその他の居室、非居室で構成されているか）	平面図
2.1-4	床面積（主たる居室、その他居室、床面積の合計）	求積表、平面図
2.1-5	吹抜け等の仮想床面積	求積表、平面図
2.1-6	地域の区分（1地域～8地域）	案内図、配置図
2.1-7	年間の日射地域区分（太陽光等利用の場合のみ）	案内図、配置図

一次エネルギー消費量計算プログラム 出力シート

「**主たる居室面積**」・・・リビング、ダイニング及びキッチン

「**その他居室面積**」・・・寝室、子ども室、和室等

「**床面積の合計**」・・・**主たる居室** + **その他居室** + 非居室

間仕切り壁や扉等がなく、水平方向および垂直方向に空間的に連続する場合は、ひとつの室とみなす。

例) リビング（**主たる居室**）が廊下（非居室）と空間的に連続している場合

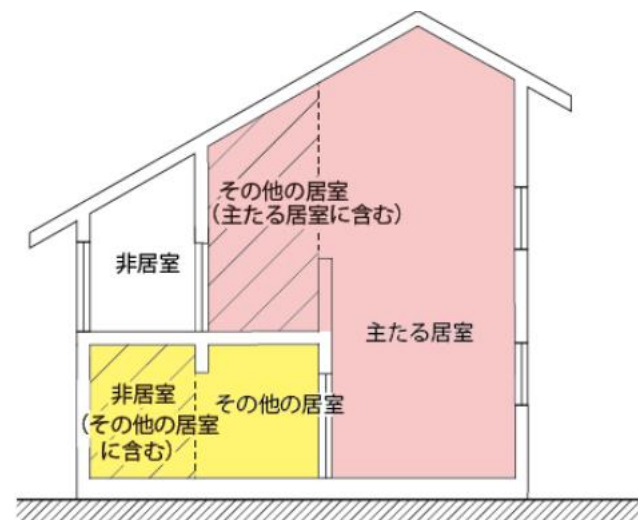
⇒当該廊下も**主たる居室**として面積計算

主たる居室・**その他居室**が空間的に一体

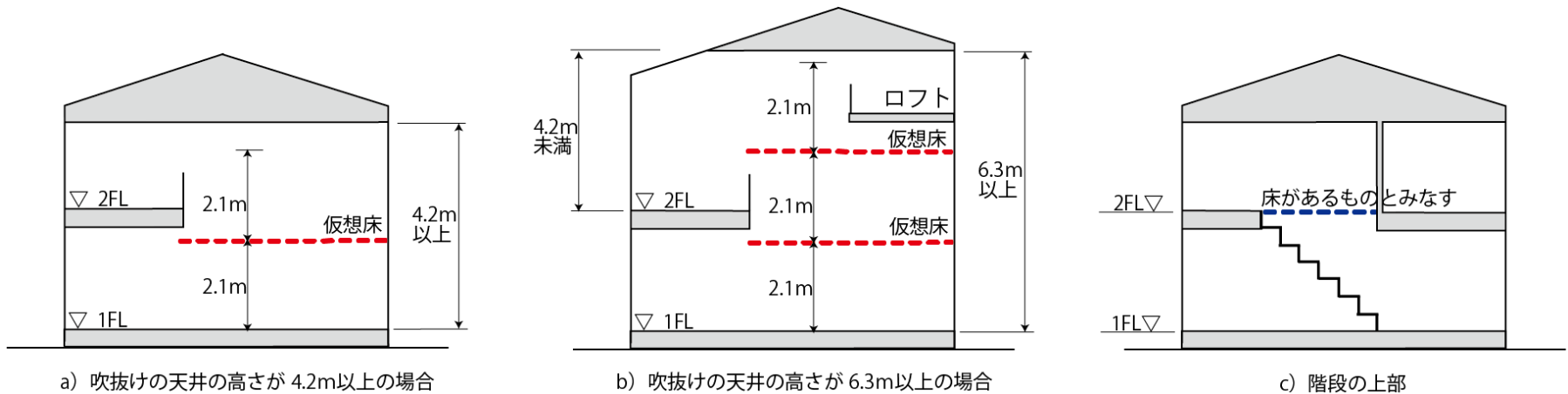
⇒ **主たる居室**

その他居室・非居室が空間的に一体

⇒ **その他居室**



仮想床 4.2m以上の天井高さを有する室や吹抜けがある場合



a) 吹抜け等の天井の高さが4.2m以上の場合

高さ 2.1m の部分に仮想床があるものとみなして、床面積に加えて計算します。

b) 吹抜け等の天井の高さが6.3m以上の場合

高さ 2.1m および 4.2m の部分に仮想床があるものとみなして、床面積に加えて計算します。以下同様に、天井高さが 2.1m 増えるごとに仮想床を設けます。階に算入されない開放されたロフト等がある場合は、これを考慮せずに天井高さで判断します。

c) 階段の上部について

階段の上部については、上階に床があるものとみなして床面積に算入します。なお、階段部分（ペントハウス用階段も含みます。）の天井の高さが4.2m以上の場合は、a) またはb) の考え方を適用します。

※仮想床の面積は、吹抜け等が存する「主たる居室」、「その他の居室」または「非居室」の面積に加える

2) 設計図書の記載例

〈求積図（一戸建ての住宅）〉



2.1-3
居室構成

各室面積		
LDK	3.640x5.460+1.213x0.910+1.820x0.910+3.640x3.640	35.88403
階段	1.820x0.910	1.6562
吹抜	2.730x3.640	9.9372
バルコニー①	1.820x1.820+1.820x0.910+3.640x0.910	8.281
階段	3.640x0.910	3.3124
和室	2.730x3.640	9.9372
洋室①	3.640x3.640	13.2496
主寝室	3.640x3.640+0.910x0.910	14.0777
洋室②	3.033x2.730+0.607x0.910	8.83246
洋室③	2.730x3.033+0.910x0.607	8.83246
玄関	1.820x1.365	2.4843
バルコニー②	1.820x1.365	2.4843
階段下収納	1.820x0.910	1.6562
トイレ①	1.820x0.910	1.6562
物入	0.607x0.910	0.55237
洗面所	1.820x1.820	3.3124
浴室	1.820x1.820	3.3124
押入	0.910x3.640	3.3124
納戸	3.640x1.820	6.6248
トイレ②	1.820x0.910	1.6562
クローゼット①	2.730x0.910	2.4843
クローゼット②	0.607x1.820	1.10474
クローゼット③	1.820x0.607	1.10474

2.1-5
吹抜け等の仮想床面積
仮想床がある場合は忘れずに

2.1-4
床面積（主たる居室、その他居室、床面積の合計）
・床面積算定式 も

主たる居室面積

その他居室面積

床面積の合計



2.2 外皮

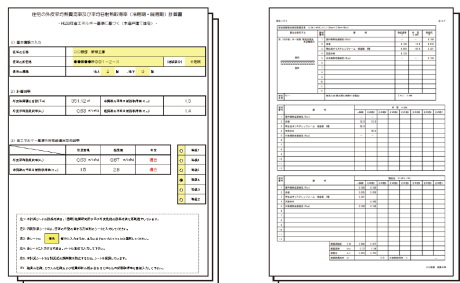
1) 記載項目

	記載項目	記載する設計図書の例
2.2-1	外皮面積（熱的境界となる部位、面積）	平面図、立面図、断面図
2.2-2	外皮平均熱貫流率（ U_A 値とその計算過程）	平面図、断面図、外皮計算書
2.2-3	冷房期平均日射熱取得率（ η_{AC} 値及びその計算過程）	平面図、立面図、外皮計算書
2.2-4	暖房期平均日射熱取得率（ η_{AH} 値及びその計算過程）	平面図、立面図、外皮計算書
2.2-5	通風の利用の有無とその計算過程	平面図、計算書
2.2-6	蓄熱の利用の有無とその利用条件等	仕様書、平面図
2.2-7	床下空間を経由して外気を導入する換気方式の利用とその利用条件等	仕様書、平面図

2.2-1～2.2-4

外皮計算を行った結果導かれる計算値

⇒原則全ての住宅において計算・記載が必要



外皮計算書

2.2.1 外皮（開口部以外）

1) 記載項目

	記載項目	記載例	記載する設計図書の例
2.2.1-1	熱的境界となる部位、面積	外壁面積：南面○㎡、東面○㎡、北面○㎡、西面○㎡、外気に接する床面積：○㎡、など	平面図、立面図、断面図
2.2.1-2	部位の構造及び工法	木造軸組工法、床剛床工法	平面図、断面図、矩計図
2.2.1-3	断熱材の施工法	外壁：充填断熱工法、床：根太間断熱工法	平面図、断面図、矩計図
2.2.1-4	部位の熱貫流率等	P1-11 部位の熱貫流率計算書参照。	平面図、断面図、矩計図、部位熱貫流率計算書
2.2.1-5	基礎断熱部の基礎の形状、範囲等	玄関土間床基礎周り：基礎内側 XPS 3 種aA 厚 30 mm張付け	基礎伏図、基礎断面図

〈矩計圖〉

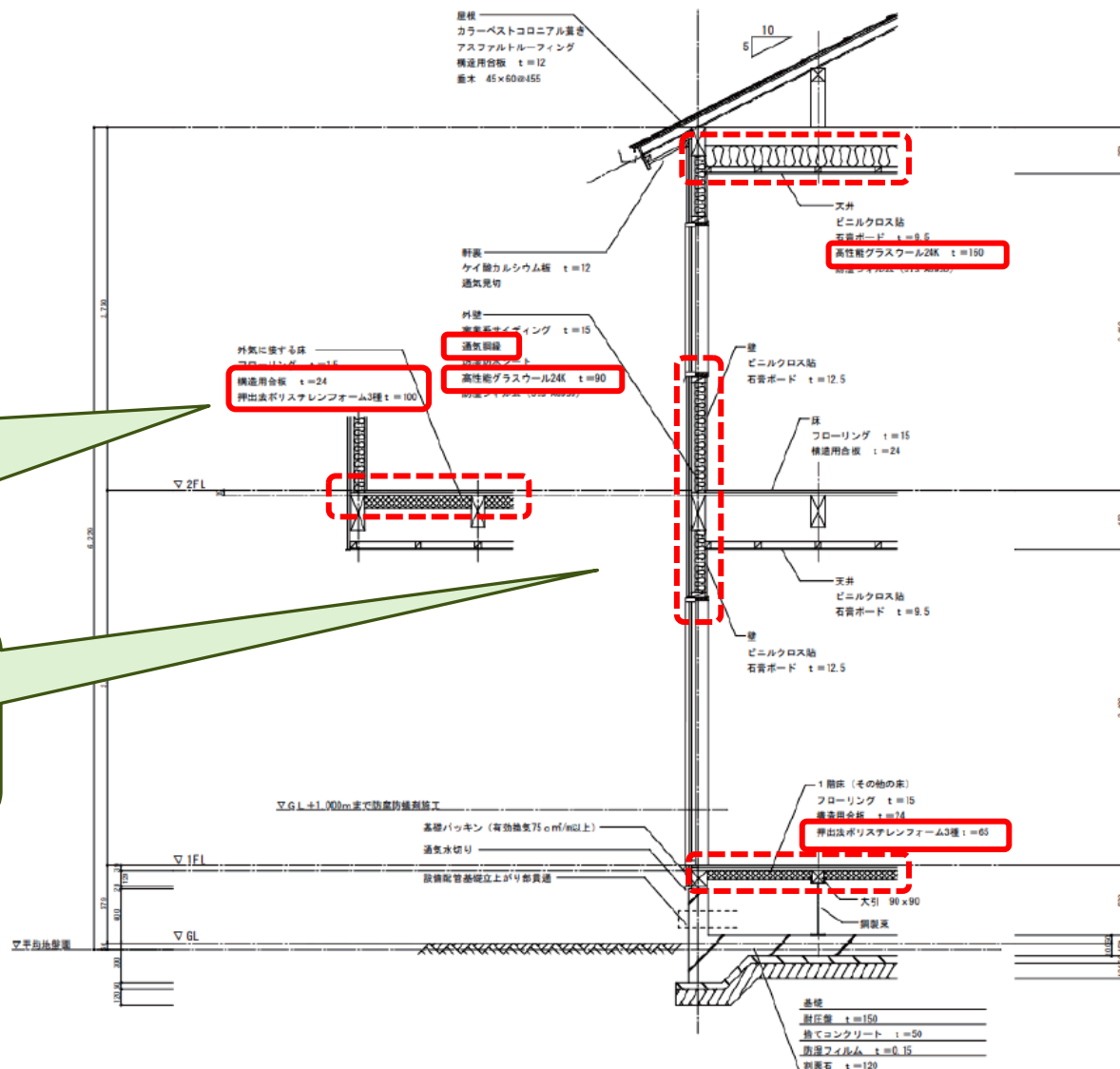
外皮計算（部位U値計算）に用いた部材の名称、
施工法、厚さを記載

- 構造用合板 $t = 24$

・押出法ポリスチレンフォーム3種 $t = 100$

2.2.1-2 部位の構造及び工法

2.2.1-3 断熱材の施工法



2) 設計図書の記載例

〈仕様表〉

断熱材、外部建具仕様

(下表に記載の建材等の性能値は、国立研究開発法人建築研究所技術情報に定める規格等に基づく値とする。)

	部位	種類	熱貫流率	厚さ	備考
断熱材	屋根				
	天井	グラスウール断熱材 高性能品 H024-36	0.036	160	桁・梁間に断熱 室内側：防湿フィルム(JIS A6930)
	バルコニー床 □屋根 □天井				
	外壁	グラスウール断熱材 高性能品 H024-36	0.036	90	柱・間柱間に断熱 室内側：防湿フィルム(JIS A6930)
	外気に接する床	押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA	0.028	100	剛床工法
	その他の床	押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA	0.028	65	大引間に断熱
	基礎	外気側 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA	0.028	30	基礎立上り内側に断熱 浴室床下のみ
		床下側 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA	0.028	30	基礎立上り内側に断熱 浴室床下のみ
	浴室下部断熱方法	■基礎断熱 □床断熱			

2.2.1-3 断熱材の施工法、厚さ
2.2.1-4 部位の熱貫流率等

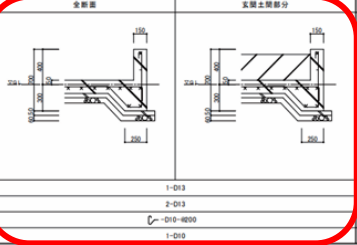
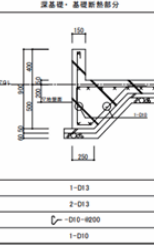
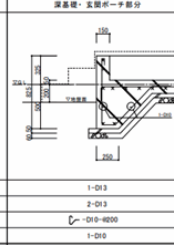
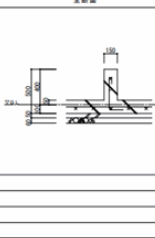
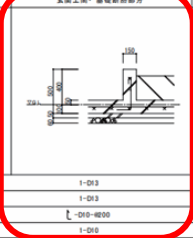
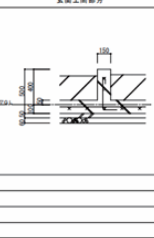
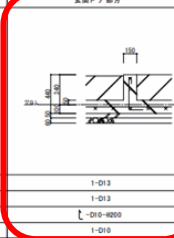
2.2.1-5
基礎断熱部の基礎の形状範囲等

建材等の熱物性値

- ・ 建研技術情報で記載する値
- ・ 建研技術情報で定める試験方法で求めた値
⇒ 試験結果等を示すカタログなど根拠資料を添付

2) 設計図書の記載例

〈基礎伏図、基礎断面図〉

符号	F G 1		F G 2	F G 2 A
位置	全断面	支脚土間部分	深基礎・基礎断熱部分	深基礎・支脚ボア部分
断面				
上端部	1-D13		1-D13	1-D13
下端部	2-D13		2-D13	2-D13
断面	1-D10-4000		1-D10-4000	1-D10
符号	F G 3		F G 3 A	F G 3 B
位置	全断面	支脚土間・基礎断熱部分	支脚土間部分	支脚ボア部分
断面				
上端部	1-D13		1-D13	1-D13
下端部	1-D13		1-D13	1-D13
断面	1-D10-4000		1-D10	1-D10
符号	1-D10		1-D10	1-D10



2.2.1-5

基礎断熱部の基礎の形状、範囲

例) 基礎立上り内側

押出法ポリスチレンフォーム 3種bA t=30

2.2.2 外皮（開口部）

1) 記載項目

窓の熱貫流率

表 2.2.2 窓の熱貫流率を求める方法に応じた設計図書等への記載事項

	記載項目※1	窓の熱貫流率を求める方法				記載する設計図書の例※2
		①	②	③	④	
2.2.2-1	製品名（建具）			○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-2	建具の仕様	○	○			仕様書、平面図、建具表
2.2.2-3	窓種			○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-4	製品名（ガラス）		○	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-5	ガラスの仕様	○	○	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-6	スペーサー種別			○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-7	ガラス熱貫流率		○	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-8	窓寸法	○	○	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-9	付属部材等の設置※3	○	○	○	○	仕様書、平面図、建具表

★窓の熱貫流率を求める方法

① 建具及びガラスの仕様に基づく窓の熱貫流率（建研技術情報に定める方法）

② 建具の仕様及びガラスの熱貫流率に基づく窓の熱貫流率
（建研技術情報に定める方法）

③ JIS 等に基づく試験や計算により求めた窓の熱貫流率

④ JIS 等に基づく試験や計算の結果を用いて建研技術情報により求めた窓の熱貫流率

- ・ 熱性能値の根拠となる詳細な建具仕様を設計図書等に明示
- ・ その性能値の根拠（試験成績書等）の添付



窓の日射熱取得率

表 2.2.3 開口部の日射熱取得率を求める方法に応じた設計図書等への記載事項

	記載項目※1	窓の日射熱取得率 を示す方法			記載する設計図書の例※2
		①	②	③	
2.2.2-10	製品名（建具）	△	△	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-11	建具の仕様	○	○	△	仕様書、平面図、建具表
2.2.2-12	窓種等	△	△	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-13	製品名（ガラス）	△	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-14	ガラスの仕様	○	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-15	Low-E 日射区分	○	△	△	仕様書、平面図、建具表
2.2.2-16	ガラス日射熱取得率	△	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-17	付属部材の設置※3	○	○	○	仕様書、平面図
2.2.2-18	ひさし、軒等の設置※3	○	○	○	仕様書、平面図、立面図

★窓の日射熱取得率を求める方法

① 建具及びガラスの仕様に基づく窓の日射熱取得率（建研技術情報に定める方法）

② 建具の仕様及びガラスの日射熱取得率に基づく窓の日射熱取得率

（建研技術情報に定める方法）

③ JIS 等に基づく試験あるいは計算により求めた窓の日射熱取得率

- ・ 熱性能値の根拠となる詳細な建具仕様を設計図書等に明示
- ・ その性能値の根拠（試験成績書等）の添付

ドアの熱貫流率

表 2.2.4 ドアの熱貫流率を求める方法に応じた設計図書等への記載事項

	記載項目※1	ドアの熱貫流率を求める方法				記載する設計図書の例※2
		①	②	③	④	
2.2.2-19	製品名（ドア）	／	／	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-20	戸の仕様	○	○	／	／	仕様書、平面図、建具表
2.2.2-21	戸の開閉形式	／	／	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-22	錠の有無等	○	○	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-23	ポストの有無	○	○	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-24	枠の仕様	○	○	／	／	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-25	ガラスの仕様	○	○	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-26	スペーサー種別	／	○	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-27	ガラス熱貫流率	／	○	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等
2.2.2-28	ドア等寸法	○	○	○	○	仕様書、平面図、建具表、試験成績書等

★ ドアの熱貫流率を求める方法

- ① 戸、枠及びガラスの仕様に基づくドアの熱貫流率（建研技術情報に定める方法）
- ② 戸、枠の仕様及びガラス性能に基づくドアの熱貫流率（建研技術情報に定める方法）
- ③ JIS 等に基づく試験や計算により求めたドアの熱貫流率
- ④ JIS 等に基づく試験や計算の結果を用いて建研技術情報により求めたドアの熱貫流率

- ・ 熱性能値の根拠となる詳細な建具仕様を設計図書等に明示
- ・ その性能値の根拠（試験成績書等）の添付

2) 設計図書の記載例

〈仕様表〉

※建具及びガラス仕様を用いた場合

- 2.2.2-20 戸の仕様
- 2.2.2-21 戸の開閉形式
- 2.2.2-22 錠の有無等
- 2.2.2-23 ポストの有無
- 2.2.2-24 枠の仕様
- 2.2.2-25 ガラスの仕様

2.2.1-2,11 建具の仕様

例) 樹脂 (または木) と
金属の複合材料製建具

2.2.2-5,14 ガラスの仕様

例) Low-E2枚 三層複層ガラス
中空層: 断熱性ガス 9mm

2.2.2-15 Low-E 日射区分

例) 日射遮蔽型

他の床	押出ポリスチレンフォーム断熱材 3種1A	0.028	大引間に断熱
壁	外気側 押出ポリスチレンフォーム断熱材 3種1A	0.028	基礎立上り内側に断熱 浴室床下のみ
床下側	押出ポリスチレンフォーム断熱材 3種1A	0.028	基礎立上り内側に断熱 浴室床下のみ
浴室下断熱方法	■基礎断熱 門扉断熱		
開口部	外部建具 (サッシ枠)	樹脂 (または木) と金属の複合材料製建具	建具及びガラス仕様に基づく開口部の 断熱伝導率・日射熱取得率 (技術情報等に定める方法)
	外部建具 (ガラス)	Low-E複層ガラス (日射遮蔽型) 中空層: 断熱性ガス9mm充填	***社***
玄関建具	枠: 金属製断熱構造 戸: 金属製断熱フラッシュ構造 2ロック。ポストなし。ガラスなし		戸、枠及びガラス仕様に基づく開口部の 断熱伝導率・日射熱取得率 (技術情報等に定める方法) ***社***

表7 (参考) ガラス(グレーニング)の熱貫流率

ガラスの仕様	熱貫流率(W/m ² K)
三層複層ガラス(Low-E 2枚、断熱性ガス入り、中空層幅 6mm)	1.4
三層複層ガラス(Low-E 2枚、断熱性ガス入り、中空層幅 7mm)	1.3
三層複層ガラス(Low-E 2枚、断熱性ガス入り、中空層幅 8mm)	1.2
三層複層ガラス(Low-E 2枚、断熱性ガス入り、中空層幅 9mm)	1.1
三層複層ガラス(Low-E 2枚、断熱性ガス入り、中空層幅 10mm)	1.0
三層複層ガラス(Low-E 2枚、断熱性ガス入り、中空層幅 11mm)	0.95
三層複層ガラス(Low-E 2枚、断熱性ガス入り、中空層幅 12mm)	0.90
三層複層ガラス(Low-E 2枚、断熱性ガス入り、中空層幅 13mm)	0.86
三層複層ガラス(Low-E 2枚、断熱性ガス入り、中空層幅 14mm)	0.82

建築物のエネルギー消費性能に関する技術情報 (国立研究開発法人建築研究所) より

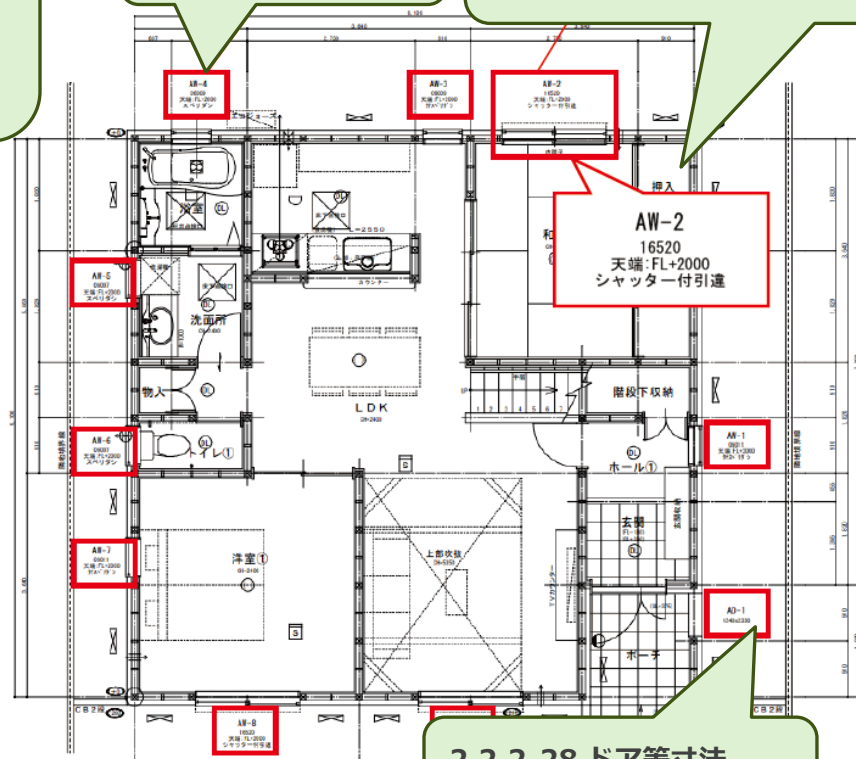
〈平面図〉

2.2.2-8 窓寸法

例) AW-4 06009

2.2.2-9 付属部材等の設置

※計算に用いない場合は不要



2.2.2-28 ドア等寸法

例) AD-1 1240×2330

2. 記載項目の具体的内容

2.1 基本事項

2.2 外皮

2.2.1 外皮（開口部以外）

2.2.2 外皮（開口部）

2.2.3 外皮（その他）

2.3 暖房設備

2.4 冷房設備

2.5 換氣設備

2.6 給湯設備

2.7 照明設備

2.8 太陽光発電設備

2.9 太陽熱利用設備

2.10 コージエネレーション設備

●設備機器一覧表

建築物の名称: ●● 棟第 新築工事

対象設備	設置場所等	設置する設備	品番等
暖房設備	各たる部屋	ホームエアコン：足付（1台）	SZZTR04S
	その他の部屋	設置しない	
換気設備	各たる部屋	ホームエアコン：足付（1台）	SZZTR04S
	その他の部屋	設置しない	
換気設備	24時間換気装置による	壁付付式一風量換気口は第3種換気	CGH-C000000
給湯設備	熱源機	給湯専用型	CQ-C1630WS
		ガス壁掛式給湯給湯機	モード熱効率：90.8%
	配管	(配管あり)	
		ヘンダー方式（分岐管1台以上）	給湯先：浴室・洗面・洗濯
給湯設備	小栓	台所	外壁分枝水（30mmC1）
		浴室	2バルブ以内のその他の水栓（標準なし）
	水栓	洗面	2バルブ以内のその他の水栓（標準なし）
		トイレ	設置しない
給湯設備	浴槽	給湯給湯機	設置しない
		給湯給湯機	設置しない
	照明設備	各たる部屋	照明器具の種類 全てLED照明
		キッチン・洗面台を含む	50W・60W・75W・100W・150W・200W・250W・300W・400W・500W・600W・700W・800W・900W・1000W・1200W・1500W・1800W・2000W・2500W・3000W・3500W・4000W・4500W・5000W・6000W・7000W・8000W・9000W・10000W・12000W・15000W・18000W・20000W・25000W・30000W・35000W・40000W・45000W・50000W・60000W・70000W・80000W・90000W・100000W・120000W・150000W・180000W・200000W・250000W・300000W・350000W・400000W・450000W・500000W・600000W・700000W・800000W・900000W・1000000W・1200000W・1500000W・1800000W・2000000W・2500000W・3000000W・3500000W・4000000W・4500000W・5000000W・6000000W・7000000W・8000000W・9000000W・10000000W・12000000W・15000000W・18000000W・20000000W・25000000W・30000000W・35000000W・40000000W・45000000W・50000000W・60000000W・70000000W・80000000W・90000000W・100000000W・120000000W・150000000W・180000000W・200000000W・250000000W・300000000W・350000000W・400000000W・450000000W・500000000W・600000000W・700000000W・800000000W・900000000W・1000000000W・1200000000W・1500000000W・1800000000W・2000000000W・2500000000W・3000000000W・3500000000W・4000000000W・4500000000W・5000000000W・6000000000W・7000000000W・8000000000W・9000000000W・10000000000W・12000000000W・15000000000W・18000000000W・20000000000W・25000000000W・30000000000W・35000000000W・40000000000W・45000000000W・50000000000W・60000000000W・70000000000W・80000000000W・90000000000W・100000000000W・120000000000W・150000000000W・180000000000W・200000000000W・250000000000W・300000000000W・350000000000W・400000000000W・450000000000W・500000000000W・600000000000W・700000000000W・800000000000W・900000000000W・1000000000000W・1200000000000W・1500000000000W・1800000000000W・2000000000000W・2500000000000W・3000000000000W・3500000000000W・4000000000000W・4500000000000W・5000000000000W・6000000000000W・7000000000000W・8000000000000W・9000000000000W・10000000000000W・12000000000000W・15000000000000W・18000000000000W・20000000000000W・25000000000000W・30000000000000W・35000000000000W・40000000000000W・45000000000000W・50000000000000W・60000000000000W・70000000000000W・80000000000000W・90000000000000W・100000000000000W・120000000000000W・150000000000000W・180000000000000W・200000000000000W・250000000000000W・300000000000000W・350000000000000W・400000000000000W・450000000000000W・500000000000000W・600000000000000W・700000000000000W・800000000000000W・900000000000000W・1000000000000000W・1200000000000000W・1500000000000000W・1800000000000000W・2000000000000000W・2500000000000000W・3000000000000000W・3500000000000000W・4000000000000000W・4500000000000000W・5000000000000000W・6000000000000000W・7000000000000000W・8000000000000000W・9000000000000000W・10000000000000000W・12000000000000000W・15000000000000000W・18000000000000000W・20000000000000000W・25000000000000000W・30000000000000000W・35000000000000000W・40000000000000000W・45000000000000000W・50000000000000000W・60000000000000000W・70000000000000000W・80000000000000000W・90000000000000000W・100000000000000000W・120000000000000000W・150000000000000000W・180000000000000000W・200000000000000000W・250000000000000000W・300000000000000000W・350000000000000000W・400000000000000000W・450000000000000000W・500000000000000000W・600000000000000000W・700000000000000000W・800000000000000000W・900000000000000000W・1000000000000000000W・1200000000000000000W・1500000000000000000W・1800000000000000000W・2000000000000000000W・2500000

例) 設備機器一覽表

※図面や仕上表等に必要事項が明示されている場合は不要です。

2.3 暖房設備

1) 記載項目

	記載項目 (暖房設備の種類)	記載例	記載する設計 図書例
2.3-1	暖房設備の有無、暖房方式	主たる居室のみ暖房設置	仕様書、平面図
2.3-2	暖房設備機器または放熱器の種類	FF 暖房機	仕様書、平面図
2.3-3	エネルギー消費効率の区分 (ルーム エアコンディショナー)	ルームエアコンディショナー (い)	仕様書、平面図
2.3-4	小能力時高効率型コンプレッサー (ルームエアコンディショナー)	小能力時高効率型コンプレッサー」 が搭載されたルームエアコンディシ ョナーの使用と、冷房及び暖房の最 小能力が定格能力の 10 分の 1 未 満である	仕様書、試験成 績証明書等
2.3-5	定格能力におけるエネルギー消費効 率 (FF 暖房機)	エネルギー消費効率 85%	仕様書、平面図
2.3-6	敷設率 (床暖房)	敷設率: $8.5 \text{ m}^2 / 14 \text{ m}^2 \times 100 = 60\%$	面積表、床暖房
2.3-7	仮想床除き敷設率 (床暖房)	(当該計算根拠となった範囲等の図 書への明示含む。)	パネル設置図
2.3-8	上面放熱率 (床暖房)	上面放熱率: 95.5% (当該計算根拠 となった仕様等の図書への明示含 む。)	仕様書、断面詳 細図、計算書 (床暖房の上面 放熱率簡易計算 シート)
2.3-9	断熱配管 (ルームエアコンディショ ナー付温水床暖房)	断熱配管あり	仕様書、設備図
2.3-10	温水暖房の種類 (温水暖房)	パネルラジエーター	仕様書、平面図
2.3-11	住戸全体を暖房する暖房設備機器の 種類 (ダクト式セントラル空調機)	ダクト式セントラル空調機 (ヒート ポンプ式熱源) 設置	仕様書、設備図
2.3-12	ダクトが通過する空間 (ダクト式セ ントラル空調機)	ダクトは全て断熱区画内に設置	仕様書、設備図

2.3-1 暖房方式

- ・居室のみを暖房する
- ・居室全体を暖房する
- ・設置しない

居室のみを暖房する場合は
主たる居室とその他の居室それぞれで
暖房設備機器または放熱器の評価方法を選択
例) 主たる居室: エアコン 区分 (い)
その他居室: エアコン 区分 (は)

2.3-13	VAV 方式の採用 (ダクト式セント ラル空調機)	要件を満たす VAV 方式を採用 (要 件を満たしていることの図書への明 示含む。)	仕様書、設備図
2.3-14	全般換気機能の有無 (ダクト式セン トラル空調)	全般換気機能なし	仕様書、設備図
2.3-15	定格暖房能力試験ー能力、消費電 力、風量、室内側送風機の消費電力 (ダクト式セントラル空調)	定格暖房能力試験: 能力 ΔW 、消費 電力 ΔW 、風量 $\Delta \text{m}^3/\text{h}$ 、室内側送風 機消費電力 ΔW	試験成績書
2.3-16	中間暖房能力試験ー能力、消費電 力、風量、室内側送風機の消費電力 (ダクト式セントラル空調)	中間暖房能力試験: 能力 ΔW 、消費 電力 ΔW 、風量 $\Delta \text{m}^3/\text{h}$ 、室内側送風 機消費電力 ΔW	試験成績書
2.3-17	設計風量 (ダクト式セントラル空 調)	150 m^3/h	設備図
2.3-18	温水暖房機の種類 (温水暖房を選択 した場合)	ガス潜熱回収型温水暖房機	仕様書、平面図
2.3-19	エネルギー消費効率の入力 (ガス従 来・潜熱回収型温水暖房機、石油従 来型温水暖房機)	定格能力におけるエネルギー消費効 率 88%	仕様書、平面図
2.3-20	熱交換器タイプ (地中熱ヒートポン プ温水暖房機)	熱交換器タイプ 3 (タイプを判断し た根拠資料含む。)	仕様書、計算書 (地中熱交換器 タイプ確認シー ト)
2.3-21	断熱配管 (温水暖房)	断熱配管あり	仕様書、設備図



1) 記載項目

一つの居室に複数の暖房器具を設置する場合、評価の優先順位が定められている

評価の優先順位	「居室のみ暖房」で使用する暖房設備
1	電気蓄熱暖房器
2	電気ヒーター床暖房
3	ファンコンベクター
4	ルームエアコンディショナー付温水床暖房
5	温水床暖房、温水床暖房（併用運転に対応）
6	FF 暖房器
7	パネルラジエーター
8	ルームエアコンディショナー

例) 主たる居室に「温水床暖房」と「ルームエアコンディショナー」設置

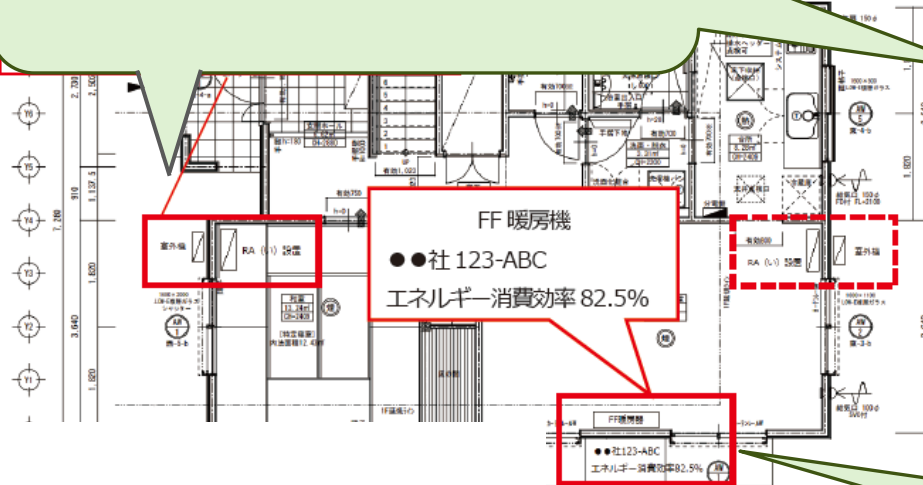
⇒「**温水床暖房**」を評価



2) 設計図書の記載

〈平面図〉

- 2.3-1 暖房設備の有無、暖房方式（その他居室）
- 2.3-2 暖房設備機器または放熱器の種類
- 2.3-3 エネルギー消費効率の区分（エアコン）



- ・暖房機設置の場合は平面図に実線で明示
- ・性能値等を入力する場合は 性能値等や、性能値を特定できる品番等を設計図書等に明示
- ・根拠となる資料も添付

〈仕様書〉

設備仕様

暖房設備	主たる居室	■ルームエアコンディショナー □その他 (□仕様等の指定)	AA社AAAAA エネルギー消費効率の区分:「い」
■居室のみ □住戸全体 □設置しない	その他の居室	□ルームエアコンディショナー □その他 (□仕様等の指定)	入居者設置
冷房設備	主たる居室	■ルームエアコンディショナー □その他 (□仕様等の指定)	AA社AAAAA エネルギー消費効率の区分:「い」
■居室のみ □住戸全体 □設置しない	その他の居室	□ルームエアコンディショナー □その他 (□仕様等の指定)	入居者設置

〈設備機器一覧表〉

対象設備	設置場所等	設置する設備	品番等
暖房設備	主たる居室	ルームエアコン: 区分 (い)	S22ZTRXS
	その他の居室	設置しない	
冷房設備	主たる居室	ルームエアコン: 区分 (い)	S22ZTRXS
	その他の居室	設置しない	

- 2.3-1 暖房設備の有無、暖房方式（主たる居室）
- 2.3-2 暖房設備機器または放熱器の種類
- 2.3-5 定格能力におけるエネルギー消費効率（FF 暖房機）

2.4 冷房設備

1) 記載項目

- ・ ルームエアコンディショナー
- ・ ダクト式セントラル空調機
(ヒートポンプ式熱源)
のみ入力対象

	記載項目 (冷房設備の種類)	記載例	記載する設計 図書例
2.4-1	冷房設備の有無、冷房方式	主たる居室のみ冷房設置	仕様書、平面図
2.4-2	冷房設備機器の種類	ルームエアコンディショナー (い)	仕様書、平面図
2.4-3	エネルギー消費効率の区分 (ルームエアコンディショナー)		
2.4-4	小能力時高効率型コンプレッサー (ルームエアコンディショナー)		
		小能力時高効率型コンプレッサー」が搭載されたルームエアコンディショナーの使用と、冷房及び暖房の最小能力が定格能力の 10 分の 1 未満である	仕様書、試験成績証明書等
2.4-5	住戸全体を冷房する冷房設備機器の種類 (ダクト式セントラル空調)	ダクト式セントラル空調機 (ヒートポンプ式熱源) 設置	仕様書、設備図
2.4-6	ダクトが通過する空間 (ダクト式セントラル空調)	ダクトは全て断熱区画内に設置	平面図、断面図
2.4-7	VAV 方式の採用 (ダクト式セントラル空調)	要件を満たす VAV 方式を採用 (要件を満たしていることの図書への明示含む。)	仕様書
2.4-8	全般換気機能の有無 (ダクト式セントラル空調)	全般換気機能なし	仕様書
2.4-9	定格冷房能力試験一能力、消費電力、風量、室内側送風機の消費電力 (ダクト式セントラル空調)	定格冷房能力試験：能力△W、消費電力△W、風量△m ³ /h、室内側送風機消費電力△W	仕様書、試験成績書
2.4-10	中間冷房能力試験一能力、消費電力、風量、室内側送風機の消費電力 (ダクト式セントラル空調)	中間冷房能力試験：能力△W、消費電力△W、風量△m ³ /h、室内側送風機消費電力△W	仕様書、試験成績書
2.4-11	設計風量 (ダクト式セントラル空調)	150 m ³ /h	換気計算書

<エネルギー消費効率の区分の表示（カタログ）>

※暖房設備も同じ

定格冷房エネルギー消費効率

$$= \frac{\text{定格冷房能力}}{\text{定格消費電力}}$$

定格冷房能力の区分	エネルギー消費効率の区分を満たす条件		
	区分 (い)	区分 (ろ)	区分 (は)
2.2kW 以下	5.13 以上	4.78 以上 5.13 未満	4.78 未満
2.2kW を超え 2.5kW 以下	4.96 以上	4.62 以上 4.96 未満	4.62 未満
2.5kW を超え 2.8kW 以下	4.80 以上	4.47 以上 4.80 未満	4.47 未満
2.8kW を超え 3.2kW 以下	4.58 以上	4.27 以上 4.58 未満	4.27 未満
3.2kW を超え 3.6kW 以下	4.35 以上	4.07 以上 4.35 未満	4.07 未満
3.6kW を超え 4.0kW 以下	4.13 以上	3.87 以上 4.13 未満	3.87 未満
4.0kW を超え 4.5kW 以下	3.86 以上	3.62 以上 3.86 未満	3.62 未満
4.5kW を超え 5.0kW 以下	3.58 以上	3.36 以上 3.58 未満	3.36 未満
5.0kW を超え 5.6kW 以下	3.25 以上	3.06 以上 3.25 未満	3.06 未満
5.6kW を超え 6.3kW 以下	2.86 以上	2.71 以上 2.86 未満	2.71 未満
6.3kW を超える	2.42 以上	2.31 以上 2.42 未満	2.31 未満

■ 壁掛形エアコン(2022年モデル)

種別/冷房設備機種の種類	シリーズ	冷房能力 (kW)	機種名	冷房定格エネルギー消費効率 (冷房COP)	省エネルギー率 (%)	冷房能力と省エネルギー率の両方	エネルギー消費効率の区分	AIF認証
壁掛形エアコン	RXシリーズ	2.2	S22ZTRXS	5.18	115	※1	(い)	○
		2.5	S25ZTRXS	5.00	115	※1	(い)	○
		2.8	S28ZTRXS	5.09	117	※1	(い)	○
		3.6	S36ZTRXS	4.36	132	※1	(い)	○
		4.0	S40ZTRXS	4.15	128	※1	(い)	○
		4.0	S40ZTRXP(V)	5.00	144	※1	(い)	○
		5.6	S56ZTRXP(V)	3.73	128	※1	(い)	○
		6.3	S63ZTRXP(V)	3.50	122	※1	(い)	○
		7.1	S71ZTRXP(V)	3.20	128	※1	(い)	○
		8.0	S80ZTRXP(V)	2.74	122	※1	(い)	○
	MXシリーズ	2.2	S22ZTMXS	4.44	108	※1	(は)	○
		2.5	S25ZTMXS	4.17	103	※1	(は)	○
		2.8	S28ZTMXS	3.94	101	※1	(は)	○
		3.6	S36ZTMXS	3.10	108	※1	(は)	○
		4.0	S40ZTMXP(V)	3.15	108	※1	(は)	○
	VXシリーズ	5.6	S56ZTMXP(V)	2.80	102	※1	(は)	○
		2.2	S22ZTVXS	3.86	100	※1	(は)	○
		2.5	S25ZTVXS	3.47	100	※1	(は)	○
		2.8	S28ZTVXS	3.59	100	※1	(は)	○
		3.6	S36ZTVXS	3.10	100	※1	(は)	○
	AXシリーズ	4.0	S40ZTVXP(V)	3.13	100	※1	(は)	○
		5.6	S56ZTVXP(V)	2.90	100	※1	(は)	○
		2.2	S22ZTAXS	5.18	115	※1	(い)	○
		2.5	S25ZTAXS	5.00	115	※1	(い)	○
		2.8	S28ZTAXS	5.09	117	※1	(い)	○
		3.6	S36ZTAXS	4.36	132	※1	(い)	○
		4.0	S40ZTAXS	4.15	128	※1	(い)	○
		4.0	S40ZTAXP(V)	5.00	144	※1	(い)	○
		5.6	S56ZTAXP(V)	3.73	128	※1	(い)	○
		6.3	S63ZTAXP(V)	3.50	122	※1	(い)	○
	SXシリーズ	7.1	S71ZTAXP(V)	3.20	128	※1	(い)	○
		8.0	S80ZTAXP(V)	2.74	122	※1	(い)	○
		9.0	S90ZTAXP(V)	3.00	111	※1	(い)	○
		2.2	S22ZTSXS	3.06	101	※1	(は)	○
		2.5	S25ZTSXS	3.94	101	※1	(は)	○
		2.8	S28ZTSXS	3.84	100	※1	(は)	○
		3.6	S36ZTSXS	3.13	102	※1	(は)	○
ルームエアコンディショナー	S22ZTRXS	4.0	S40ZTSXP(V)	3.03	102	※1	(は)	○
		5.6	S56ZTSXP(V)	3.06	102	※1	(ろ)	○
		6.3	S63ZTSXP(V)	2.96	100	※1	(い)	○
		7.1	S71ZTSXP(V)	2.92	100	※1	(い)	○

2.4.2 冷房設備の種類及びその効率

例) ルームエアコンディショナー

型番: S22ZTRXS

エネルギー消費効率区分 (い)



2) 設計図書の記載例

〈平面図〉

2.4-1 冷房設備の有無、冷房方式
エアコン等の位置明示

2.4-2 冷房設備機器の種類

2.4-3 エネルギー消費効率の区分 (エアコン)



2.4-1 冷房設備の有無、冷房方式
エアコン等の位置明示

2.4-2 冷房設備機器の種類

2.4-3 エネルギー消費効率の区分 (エアコン)

- ・ 暖房機設置の場合は平面図に実線で明示
- ・ 性能値等を入力する場合は 性能値等や、性能値を特定できる品番等を設計図書等に明示
- ・ 根拠となる資料も添付

〈仕様書〉

設備仕様			
(下表に記載の設備機器の仕様等は、国土交通省住宅性能評価委員会に定める規格等に基づくものとする。)			
暖房設備	主たる居室	■ルームエアコンディショナー □その他 ()	RA社AAAAA
	(□仕様等の指定)		エネルギー消費効率の区分: 「い」
■居室のみ □住戸全体 □設置しない	その他の居室	□ルームエアコンディショナー □その他 ()	入居者設置
	(□仕様等の指定)		
冷房設備	主たる居室	■ルームエアコンディショナー □その他 ()	RA社AAAAA
	(□仕様等の指定)		エネルギー消費効率の区分: 「い」
■居室のみ □住戸全体 □設置しない	その他の居室	□ルームエアコンディショナー □その他 ()	入居者設置
	(□仕様等の指定)		
24時間換気設備		■付帯3種換気設備 換気回数: 建築法30条の7表「その他の居室」該当 (□仕様等の指定)	CC社CC0000C
換気設備		□有り (仕様等の指定)	比消費電力: ()
			CC社DD0000D

2.4-1 冷房設備の有無、冷房方式

2.4-2 冷房設備機器の種類

2.4-3 エネルギー消費効率の区分 (エアコン)

エネルギー消費効率の区分を評価する場合は
カタログを添付の上、品番を明示

〈設備機器一覧表〉

対象設備	設置場所等	設置する設備	品番等
暖房設備	主たる居室	ルームエアコン: 区分 (い)	S22ZTRXS
	その他の居室	設置しない	
冷房設備	主たる居室	ルームエアコン: 区分 (い)	S22ZTRXS
	その他の居室	設置しない	

2.5 換気設備

局所換気設備ではなく建築基準法の24時間換気設備について

2.5-1 換気設備

- ・ダクト式第一種換気設備
- ・ダクト式第二種または第三種換気設備
- ・壁付け式第一種換気設備
- ・壁付け式第二種または第三種換気設備

ダクト式換気設備

1台の換気設備に合計1m以上のダクトを使用しているもの

2.5-3 比消費電力

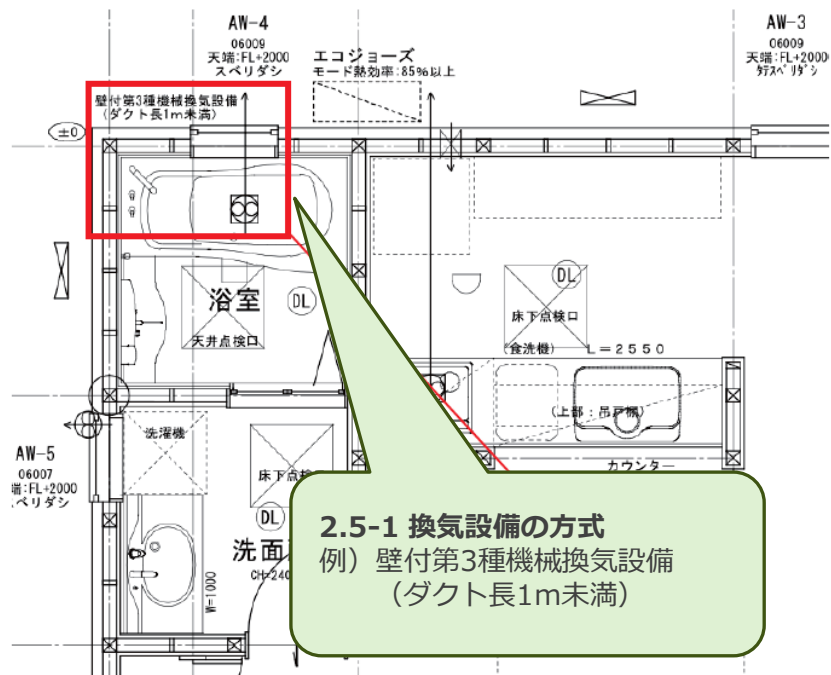
=消費電力/設計風量

※複数の全般換気設備を設置する場合は、すべての機器の「消費電力」の合計値および「設計風量」の合計値を用いて計算

	記載項目	記載例	記載する設計図書 の例
2.5-1	換気設備の方式	ダクト式第三種換気設備	仕様書、設備図
2.5-2	径の太いダクト、DC モーター（ダクト式）	内径 100mm のダクト及び DC モーター使用	仕様書、設備図
2.5-3	比消費電力	比消費電力：55(W)/200(m ³ /h) = 0.28 (W/(m ³ /h))	仕様書、設備図
2.5-4	換気回数	建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項第 2 号表「その他の居室」に該当	仕様書、設備図
2.5-5	有効換気量率（第一種換気設備）	1.0	設備図、試験成績証明書、計算書
2.5-6	温度交換効率（熱交換型換気設備）	熱交換型換気設備の設置（温度交換効率 60%）	設備図、試験成績証明書
2.5-7	給排気比率による温度交換効率の補正係数（熱交換型換気設備）	0.9	設備図、試験成績証明書、計算書
2.5-8	排気過多時における漏気による温度交換効率の補正係数（熱交換型換気設備）	1.0	（温度交換効率の補正係数の算出ツール）

2) 設計図書の記載例

〈平面図〉



- ・評価する項目に応じて換気設備の機能（風量、消費電力、有効換気量率、温度交換率等）がわかるカタログを添付
- ・評価する項目に応じて品番を図面又は仕様書に明示

〈仕様書〉

設備仕様

(下表に記載の設備機器等の仕様は、国立研究開発法人建築研究所が定める規格等に基づくものとする。)

暖房設備	主たる居室	■ルームエアコンディショナー □その他 () (口仕様等の指定)	AA社AAAA エネルギー消費効率の区分:「い」
■居室のみ □住戸全体 □設置しない	その他の居室	□ルームエアコンディショナー □その他 () (口仕様等の指定)	入居者設置
冷房設備	主たる居室	■ルームエアコンディショナー □その他 () (口仕様等の指定)	AA社AAAA エネルギー消費効率の区分:「い」
■居室のみ □住戸全体 □設置しない	その他の居室	□ルームエアコンディショナー □その他 () (口仕様等の指定)	入居者設置
換気設備	24時間換気設備	壁付第3種換気設備 換気回数: 建築法20条の7表「その他の居室」該当 (口仕様等の指定)	比消費電力: ()
	熱交換	□有り (仕様等の指定) ■無し	温度交換効率: ()
		■ガス潜熱回収型給湯機 □その他 ()	

〈設備機器一覧表〉

対象設備	設置場所等	設置する設備	品番等
暖房設備	主たる居室	ルームエアコン: 区分 (い)	S22ZTRXS
	その他の居室	設置しない	
冷房設備	主たる居室	ルームエアコン: 区分 (い)	S22ZTRXS
	その他の居室	設置しない	
換気設備	24時間換気計算による	壁付け式第二種換気または第三種換気	CC社CCCCC

- 2.5-1 換気設備の方式
2.5-2 径の太いダクト、DCモーター（ダクト式）
2.5-3 比消費電力
2.5-4 換気回数
換気回数わかる換気計算書を添付
2.5-6 温度交換効率



2.6 給湯設備

1) 記載項目

	記載項目	記載例	記載する設計図書 の例
2.6-1	給湯設備の有無	給湯設備あり（浴室あり）	仕様書、平面図
2.6-2	熱源機の種類	ガス潜熱回収型給湯器	仕様書、平面図
2.6-3	エネルギー消費効率（ガス従来・潜熱回収型給湯器、給湯専用型）、熱効率（石油従来・潜熱回収型給湯器、給湯専用型）	モード熱効率 95%	仕様書、平面図
2.6-4	モード熱効率（ガス又は石油従来・潜熱回収型給湯器、給湯専用型）		
2.6-5	JIS 効率又は品番（電気 HP 給湯器・CO2 等冷媒（太陽熱利用なし））	JIS 効率 2.7	仕様書、平面図
2.6-6	品番の指定又は冷媒の種類、タンクユニット容量（電気 HP 給湯器・ガス瞬間式併用型給湯機、給湯専用型）	ブランド事業者名 株式会社×× ヒートポンプユニット番号 HP-××× 貯湯ユニット品番 S-Y××× 補助熱源機品番 -	仕様書、平面図
2.6-7	暖房部熱効率、給湯部エネルギー消費効率又はモード熱効率（ガス従来・潜熱回収型温水暖房機、給湯・温水暖房一体型）	暖房部熱効率 87.0% 給湯部エネルギー消費効率 90.0%	仕様書、平面図
2.6-8	暖房部熱効率、給湯部熱効率又はモード熱効率（石油従来型給湯温水暖房機、給湯・温水暖房一体型）	暖房部熱効率 82.0% 給湯部エネルギー消費効率 85.0%	仕様書、平面図

2.6-9	暖房部熱効率、給湯部モード熱効率（石油潜熱回収型給湯温水暖房機、給湯・温水暖房一体型）	暖房部熱効率 82.0% 給湯部エネルギー消費効率 90.0%	仕様書、平面図
2.6-10	タンクユニットの設置場所（電気 HP ガス瞬間式併用給湯温水暖房機、給湯・温水暖房一体型、暖房：電気 HP ガス、給湯：ガス）	屋外設置	仕様書、平面図
2.6-11	電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯温水暖房機の区分（電気 HP ガス瞬間式併用給湯温水暖房機、給湯・温水暖房一体型、暖房：電気 HP ガス、給湯：電気 HP ガス）	区分 1（RTU-R1001（リンナイ（株））	仕様書、平面図
2.6-12	品番の指定又は冷媒の種類、タンクユニット容量（電気 HP ガス瞬間式併用給湯温水暖房機、給湯・温水暖房一体型、暖房：ガス、給湯：電気 HP ガス）	ブランド事業者名 株式会社×× ヒートポンプユニット番号 HP-××× 貯湯ユニット品番 S-Y××× 補助熱源機品番 -	仕様書、平面図
2.6-13	ふろ機能の種類	ふろ給湯器（追焚あり）	仕様書、平面図
2.6-14	配管方式、ヘッダー方式のヘッダー分岐後の配管径	ヘッダー方式、分岐後の配管径 13A 以下	仕様書、平面図
2.6-15	台所、浴室シャワー、洗面の水栓種類	全て 2 バルブ水栓以外、台所及び洗面水栓水優先吐水機能付き、浴室シャワー水栓手元止水機能付き	仕様書、平面図
2.6-16	高断熱浴槽の使用の有無	高断熱浴槽 (JIS A 5532) 設置	仕様書、平面図

2.6-16 高断熱浴槽

JIS A 5532に適合することがわかる資料を添付



2) 設計図書の記載例

〈平面図〉



2.6-1 給湯設備の有無

2.6-2 熱源機の種類

2.6-3 エネルギー消費効率（ガス従来・
潜熱回収型給湯器、給湯専用型）、
熱効率（石油従来・潜熱回収型給湯器、
給湯専用型）

2.6-4 モード熱効率（ガス又は石油従
来・潜熱回収型給湯器、給湯専用型）

2.6-1～2.6-16 給湯設備等の仕様

2.6-2 熱源機の種類

例) ガス潜熱回収型給湯機

2.6-4 モード熱効率

例) モード熱効率：85%以上

2.6-13 ふろ機能の種類

例) 風呂追焚あり

2.6-14 配管方式

例) ヘッダー方式（13A以下）

2.6-15 台所、浴室シャワー、洗面の水栓種別

節湯水栓を評価する場合はカタログ添付の上、
製品を特定できる品番等を設計図書に明示

例) 台所、浴室、洗面：2バルブ以外

2.6-16 高断熱浴槽の使用の有無

※JIS A 5532に適合

〈設備機器一覧表〉

給湯設備	熱源機	給湯専用型	ガス潜熱回収型給湯機	CQ-C163WS
		(追焚あり)		モード熱効率：90.8%
	配管	ヘッダー方式（分岐後13A以下）		給湯先：台所・洗面・浴室
	水栓	台所	水優先吐水（節湯C1）	FF社FFFFFF
		浴室	2バルブ以外のその他の水栓（節湯なし）	
		洗面	2バルブ以外のその他の水栓（節湯なし）	
		サブ洗面	設置しない	
	浴槽	高断熱浴槽		GG社GGGGGG

〈仕様書〉

換気設備	24時間換気設備	壁付第3種換気設備 換気回数：基準法20条の7表「その他居室」該当 （□仕様等の指定）	比消費電力：（ ）
	熱交換	□有り（仕様等の指定） ■無し	湿度交換効率：（ ）
給湯設備	給湯機	■ガス潜熱回収型給湯機 □その他（ （■仕様等の指定）	□エネルギー消費効率：（ ） ■モード熱効率：（ 85%以上 ） ふる機能の種類：ふる給湯器（追焚あり）
	配管方式	■先分岐式 □ヘッダー方式の場合→□分岐後すべて13A以下 □分岐後いずれか配管径13A起	
	水栓	台所 □2バルブ ■2バルブ以外 →□手元止水（節湯A） □水優先吐水（節湯C）	
		浴室シャワー □2バルブ ■2バルブ以外 →□手元止水（節湯A） □小流量吐水（節湯B）	
		洗面 □2バルブ ■2バルブ以外 →□水優先吐水（節湯C）	
	浴槽の保温措置	□高断熱浴槽を使用する ■評価しないまたは高断熱浴槽を使用しない	
照明設備	主たる居室	■すべてLED □すべて白熱灯以外 □いずれかで白熱灯を使用 □調光が可能な制御を採用 □設置しない	
	その他の居室	□すべてLED □すべて白熱灯以外 □いずれかで白熱灯を使用 □調光が可能な制御を採用 ■設置しない	
	非居室	■すべてLED □すべて白熱灯以外 □いずれかで白熱灯を使用 □人感センサー採用 □設置しない	



2) 設計図書の記載例

〈カタログ等（ガス給湯器）〉

2.6-2 熱源機の種類
設計図書にも記載

ガス給湯器GQ-C1634WS【潜熱回収型高効率温水機器(エコジョーズ)】
(付表 N0001-20200327)

No.	ノーマル品名	熱源機の種類	熱源機の種類	ふる機能の種類	暖房部熱効率	湯部 効率		性能確認区分	認証マーク
						モード熱効率	エネルギー消費効率		
1	GQ-C1634WS	給湯専用型	ガス潜熱回収型給湯機	給湯単機能	—	90.8%	—	B-2	
2	GQ-C1634WSBL	給湯専用型	ガス潜熱回収型給湯機	給湯単機能	—	90.8%	—	B-2	
3	GQ-C1634WS-C	給湯専用型	ガス潜熱回収型給湯機	給湯単機能	—	90.8%	—	B-2	
4	GQ-C1634WS-CBL	給湯専用型	ガス潜熱回収型給湯機	給湯単機能	—	90.8%	—	B-2	
5	GQ-C1634WSOBL	給湯専用型	ガス潜熱回収型給湯機	給湯単機能	—	90.8%	—	B-2	
6	GQ-C1634WSO-CBL	給湯専用型	ガス潜熱回収型給湯機	給湯単機能	—	90.8%	—	B-2	
7	GQ-C1634WSO-TBBL	給湯専用型	ガス潜熱回収型給湯機	給湯単機能	—	90.8%	—	B-2	
8	GQ-C1634WSO-TBL	給湯専用型	ガス潜熱回収型給湯機	給湯単機能	—	90.8%	—	B-2	
9	GQ-C1634WS-T	給湯専用型	ガス潜熱回収型給湯機	給湯単機能	—	90.8%	—	B-2	

給湯器の型番
設計図書にも記載
例) CQ-C1634WS

2.6-4 モード熱効率
(ガス又は石油従来・
潜熱回収型給湯器、給湯専用型)
設計図書にも記載
例) モード熱効率：90.8%

熱効率、JIS効率、追焚機能、節湯水栓を評価する場合はそれがわかるカタログを添付

2.7 照明設備

1) 記載項目

	記載項目	記載例	記載する設計図書 の例
2.7-1	主たる居室、その他居室、非居室の 照明設備の種類及び調光が可能な制 御等の有無	主たる居室：設置しない その他居室：設置しない 非居室：全てLEDを使用（便所照 明に人感センサー設置）	仕様書、平面図

2.7-1 照明設備の種類

- ・ LED
- ・ 白熱灯以外
- ・ 白熱灯
- ・ 設置しない

照明設備の評価方法

主たる居室

- ・ 多灯分散照明方式（白熱灯以外）
- ・ 調光が可能な制御

その他の居室

- ・ 調光可能な制御

非居室

- ・ 人感センサー

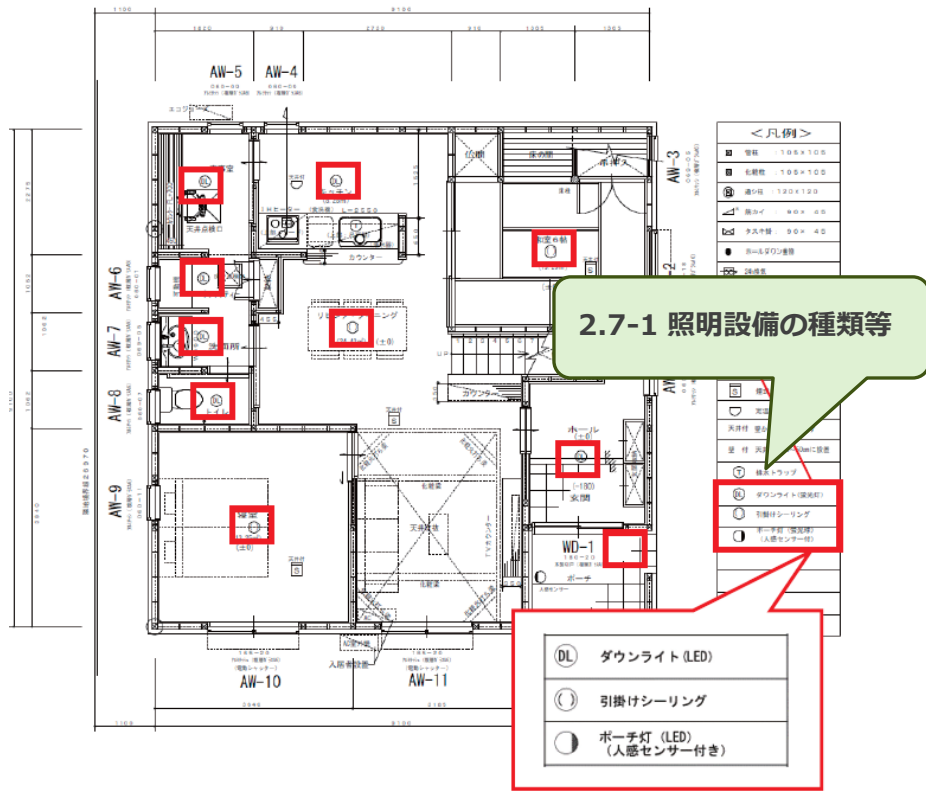
複数の照明設備を設置する場合で、いずれかの照明設備が調光機能/人感センサーを有する場合は、調光機能/人感センサー「採用する」を選択

標準計算では主たる居室、その他の居室、非居室のすべてが計算対象となる

→非居室はユニットバスの照明も対象となるので注意

2) 設計図書の記載例

〈平面図〉



竣工後に入居者が照明設備を設置する場合は、その旨を記載し、照明設備の種類などの記載は不要

〈仕様書〉

2.7-1 主たる居室、その他居室、非居室の照明設備の種類及び調光が可能な制御等の有無

例) 主たる居室：すべてLED
その他の居室：設置しない
非居室：すべてLED (人感センサー採用)

設備	仕様
照明設備	主たる居室：すべてLED その他の居室：設置しない 非居室：すべてLED (人感センサー採用)

〈設備機器一覧表〉

照明設備	主たる居室	照明器具の種類	全てLED照明	その他の居室：入居者設置
	(キッチン手元灯を含む)	多灯分散照明方式	評価・採用しない	
		調光可能な制御	評価・採用しない	
	その他の居室	照明器具の種類	設置しない	
		調光可能な制御	評価・採用しない	
非居室		照明器具の種類	全てLED照明	
	(浴室・洗面化粧台照明を含む)	人感センサー	評価・採用しない	

2.8 太陽光発電設備

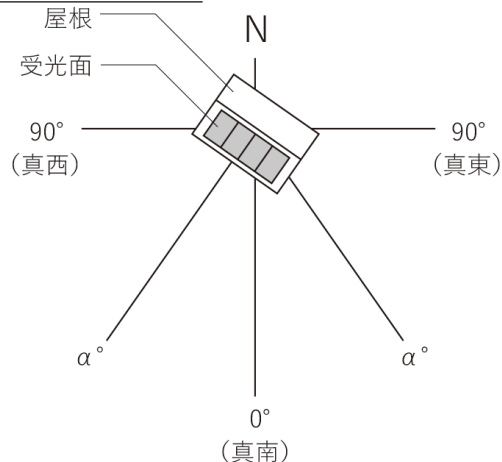
1) 記載項目

	記載項目	記載例	記載する設計図書 の例
2.8-1	パワーコンディショナの定格負荷効率	定格負荷効率：96.5%（力率0.95時）	仕様書、機器表
2.8-2	太陽電池アレイのシステム容量、種類、設置方式	結晶シリコン系太陽電池アレイ、システム容量3.5kW、屋根置き形	仕様書、機器表
2.8-3	パネルの設置方位角、傾斜	パネルの設置方位角：真南から東10度、傾斜角：26.57度（5寸勾配）	パネル設置計画図

※太陽光電池モジュールの出力の準拠規格

太陽電池の種類	条件
結晶シリコン系太陽電池	JIS C 8918、JIS C 8990 または IEC 61215
結晶シリコン系以外の太陽電池	JIS C 8991 または IEC 61646
アモルファス太陽電池	JIS C 8939
多接合太陽電池	JIS C 8943

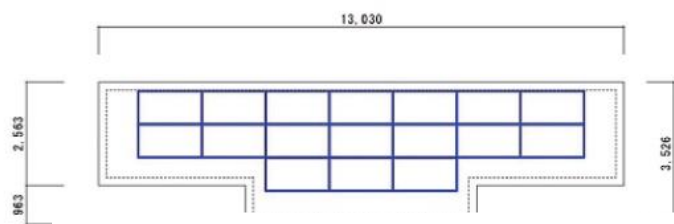
〈方位角の考え方〉



2) 設計図書記載例

〈太陽光発電仕様書〉

2.8-3 パネルの設置方位角、傾斜
建物の設置方位角、屋根勾配等



2.8-2 太陽電池アレイのシステム容量、種類、設置方式
立面図または屋根伏図にパネル配置（枚数）を明示
システム容量がわかる品番等を記載の上、
カタログ等（JISまたはIECに基づくことがわかるもの）を添付
例）太陽光パネル TP123456 17枚
システム容量：4.148kW

太陽光発電 仕様書		
〇〇 〇〇 様邸		
システム容量 4.148kW		
結晶系シリコン系太陽電池		
屋根形状	切妻	
屋根材	金属（横葺）	
架台/施工方法	金属屋根方式	
屋根断熱数	2階	
勾配※	3寸（約16.7度）	
方位	真南から東10度	
※屋根勾配が5寸を超える場合や、2階の高さを超える場合には、安全対策として雨どい等の設置が必要になります。		
太陽光パネル	TP123456	17
インバータ ※	PC234567	1
接続箱	SD345678	1
	〇〇〇〇〇〇〇〇	2

〈設備機器一覧表〉

	(浴室・洗面化粧台照明を含む)	人感センサー	評価・採用しない
太陽光発電	設置する		
		太陽電池モジュールの品番：	TP123456 244W×17枚=4.148kW
		パワーコンディショナの品番：	PC234567 96.5%

2.8-2 太陽電池アレイのシステム容量、種類、設置方式

2.8-1 パワーコンディショナの定格負荷効率
評価する場合は品番等を記載の上、
定格負荷効率がわかるカタログを添付

引き続きセミナーをご覧ください

